

新

センター通信

第2号

発行 2011.1.10

(仮称)

[発行・編集] 社会福祉法人 札幌協働福祉会 / アクティビティ・サポートセンター協力会

〒002-8055 札幌市北区篠路町福移147-3 TEL:011-792-3969 / FAX:011-792-2887

HP <http://sapporo-kyoudoufukusikai.jp> E-mail:info-honbu@sapporo-kyoudoufukusikai.jp

拓北あいの里をノーマライゼーション先進地にするために

— 謹賀新年 2011年 —

札幌協働福祉会総合施設長 辰田 収

札幌協働福祉会にかかわる関係者の皆さん

明けましてお目出とうございます！！

障害者も健常者と共に生きるノーマライゼーション理念は理想ですが、現実にはほど遠いものがあります。しかし「やさしさ響きあう街、拓北・あいの里」は一味違います。

北海道で、札幌で、拓北・あいの里地域ほど障害児者にかかわる諸機関が集まっている所はありません。1987年の北海道教育大学移転を最初に北海道医療大学病院・関係学部、拓北養護学校等、そしてアクティビティセンターは1995年の開設以来16年になります。

この間、私たちは、利用者・保護者の求めに応じ、幼児から高等部卒業・成人まで支援できる仕組みを作りました。障害の重い人の日中活動支援も少しずつ進めています。拓北・あいの里を中心に札幌協働福祉会を頼って来る障害者が多くなり、グループホームも15

カ所、地域生活者は100名になろうとしています。

今年は絵画・音楽・演劇等のアートセンター(4面)の本格化を進めます。また釣り旅行等の余暇支援を拡充します。さらに地域では、「拓北・あいの里ノーマライゼーション研究会」の他、高齢者障害者施設関係者で作る全国初の「拓北・あいの里ケア施設町内会」、北海道初の「障害の重い人の地域生活を支援する実践・交流の集い」ホームヘルパー養成講座(6～7月)等が予定されています。

私たちは、拓北・あいの里をノーマライゼーションの先進地にするために、夢をふくらませます。

今年こそ皆様ごたの更なるお力添えをよろしくお願い申し上げます。

▶ 新センター通信の題名公募状況 ◀

「あきちゃん通信」「きゅうちゃん通信」「たんぽぽ」
「てまてま通信」「てまひま」「ゆったり」(50音順)

《今後の日程》

■ 札幌協働福祉会 2011年ニューイヤーパーティー

日時:1月29日(土)12:30～ 場所:拓北・あいの里地区センター(あいの里1条6丁目1)

■ 拓北あいの里福祉ケア町内会設立総会

日時:2月16日(水)18:00 設立総会 場所:拓北・あいの里地区センター

記念講演「スウェーデンの高齢者～その住まいと暮らし」ハンソン友子さん(在スウェーデン)

■ 第6回拓北・あいの里ノーマライゼーション研究会(案)「最新の障害者施策を学ぼう」

日時:3月4日(金)18:30～ 場所:拓北・あいの里地区センター

①「北海道障がい者条例」について ②「自立支援協議会」の役割

③「特別支援教育」と「インクルーシブ教育」の関連について

■ 障害の重い人の地域生活を支援する実践・交流の集い in 札幌(第7回ノマ研を兼ねて)

日時:6月12日(日) 場所:北海道拓北養護学校(予定)



2010年12月

イベント報告コーナー



12/11(土)

2010年合同忘年会

2010年12月11日(土)、札幌協働福祉会は「拓北・あいの里地区センター」を会場に、法人各事業所合同で「忘年会」が開かれました。

会場には、施設をご利用されているユーザーさんとご家族、さらに地域の皆様方が来場され、法人スタッフらも含めると300名以上の人々が集まりました。

連合町内会顧問の柳森茂夫(90)さんが乾

杯のグラスを上げ、賑やかな忘年会が始まりました。続いて余興が次々と披露され、各事業所の施設長らも「マグカップ」を手に奮闘、さらにユーザーさんらの元気な歌声で会場は盛り上がりました。

また、山田太郎さん作詞、森理事長作曲のオリジナル曲「タンポポ畑はないけれど」が今回初めて紹介されました。



柳森さん(右の後姿)の音頭で乾杯!



司会をまかせて!



「タンポポ畑はないけれど」作詞の山田太郎さん(左)と、歌う内ヶ崎さん(右)



衣装を間違え会場は大爆笑!!



オードブルを囲んで盛り上がる会場



「明日があるさ」を熱唱



<報告:田村 隆>

12/4(土)

児童デイ・療育センター合同ふれあい交流会

2010年12月4日(土)、札幌協働福祉会児童デイサービスセンター(「むう(夢)」・第2「むう(夢)」・第3「むう(夢)」)及びたくあい療育センター(響「ひびき」・エルドラード)の両事業所では「あいの里地区センター」を会場に約60名の子どもたちが終始賑やかな雰囲気の中で「合同ふれあい交流会」を開催しました。

保護者さま、地域の方々のご協力のもとに、今年で5回目を迎える交流会一子どもたちがまたひとつ新しい笑顔を見せてくれた時間でした。お爺ちゃんやお婆ちゃんも参加、約150名の人々が子どもたちを温かく見守っていました。

各事業所の子どもたちの元気いっぱいの歌や踊りや劇があり、1年間の子どもの活動のライド上映があり、また地域のダンスチームや、つばさクラブOBによる民族舞踊等が披露されました。最後は参加者全員「パラバルーン」~みんな一体となって楽しみました。

育ち盛りの木々たち(子どもたち)はこれからも「げん木・ゆう木・やる木」となって大きく育っていくでしょう。来年の「ふれあい交流会」の通信もお楽しみに!



森理事長の挨拶でスタート!



理事長のピアノ伴奏に合わせみんなで「しあわせつくろう」♪



私もサンタ!?



朝の会、元気いっぱい! みんなで歌ったよ!



大きくなった「ぼく」を見て!



みんな一緒にこあいさつ



おじいちゃん、おばあちゃんも一緒にうれしいな!

<報告:柳町 祐子>

ユーザーさん募集中!

アートセンターあいのさと

2010年活動報告と2011年へ向けての抱負

2010年4月にスタートした「アートセンターあいのさと」は、順調に船出しました。

旧レストランの空間を最大限有効活用しながら、制作活動・展示を中心に、ユーザーさんがゆっくりと静かに活動できるよう、環境を整えてきました。楽しむことによって、安定した日々が過ごせると思っています。

日々の活動として、午前に制作を午後から散歩や図書館へ。または、室内レクリエーションです。制作プログラムの特徴は「描くもの(材料)」と「描かれるもの(材料)」を考えられる限り取り上げて、素材中心に組み立てられています。月曜から金曜まで、クレヨン、紙片、墨、鉛筆、粘土のローテーションです。材料は、売られている品物から日用品や普段捨てられる物も活用します。例えば、梱包材、卵ケースなどです。「描かれるもの」には、画用紙、和紙、木片、粘土、ペットボトルキャップなど。

或る日は、石狩の浜へ出かけて波打ち際の本片を採集し、持ち帰って彩色し、組み立てたりしてオブジェにします。こうして、材料と遊んでいるうちに自然と対話し、作品が生まれることを大切に考えています。また時には、「スペシャル」と名づけてイベントにします。

開所日に、芸術の森美術館へ行きました。「造る」と「見る」こととは、表と裏の関係であり、「見て味わう」ことも制作と考えます。以上のことから、当然のように作品を展示、設置することも重要となります。

ユーザーさんの作品はまた、Tシャツやカレンダーにもなりました。学園通りあくていぶのユーザーさんは、Tシャツのプリントにと「魚シリーズ」を制作され、見事な作品が生まれました。

加工品に変わるのも、楽しみのひとつです。2011年は、どんな品物が生まれるかワクワクします。

2011年といえば、10月に新しくアートセンターの「弟」が出来ることになりました。美術はもちろんのこと、音楽、演劇も視野に入れて活動する施設となります。名前はまだ未定です。

「兄弟」仲良く、一層充実した活動を提供できればとスタッフ一同願っています。どうぞよろしくお願い致します。(文責:碓井 良平)

新アートセンターの ユーザーさん大募集

2011年10月開設予定/定員20名
予定サービス:生活介護・生活訓練
住所:北区あいの里1条4丁目15-18

■お問合せ:アートセンターあいのさと
〒002-8074 札幌市北区あいの里4条5丁目10-2
TEL:011-299-3458 FAX:011-299-3459

大好評
です!

「あくていぶ」のギフト

— お年始にいかがでしょうか? —

- ◇夕張長芋 2,480円
- ◇合鴨鍋セット 3,150円
- ◇調味料セット 3,000円

※送料など詳しくは「あくていぶ」まで
お問合せください。

▼FAXでのご注文
011-778-2375

▼お電話でのご注文
011-778-2377

自然志向の店
あくていぶ

■営業時間 平日・土曜 9時30分~17時00分
日曜・祝日は定休日

<http://sapporo-kyoudoufukusikai.jp/main/>

札幌市北区あいの里3条4丁目9-1(歩道橋すぐ横)